



野口 聡一
船外活動担当(MS1)



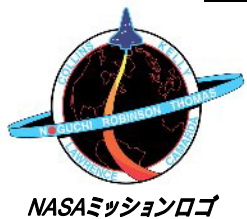
アイリーン M. コリンズ
(Eileen M. Collins)
船長:Commander



ジェームス M. ケリー
(James M. Kelly)
パイロット:Pilot



スティーブン K. ロビンソン
(Stephen K. Robinson, Ph.D.)
船外活動担当(MS2)



NASAミッションロゴ

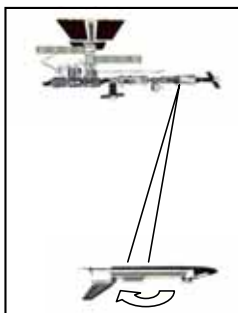
飛行日 5日目

1回目の船外活動:耐熱タイル修理技術の検証(イメージ)



飛行日 3日目

ISSからの400mm/800mm望遠レンズによるタイル撮影及び、ISSとのドッキング(イメージ)



飛行日 2日目

ロボットアームとセンサー付き検査用延長ブーム(OBSS)を利用した耐熱タイル等の点検(イメージ)



飛行日 1日目

分離した外部燃料タンクの撮影作業(イメージ)



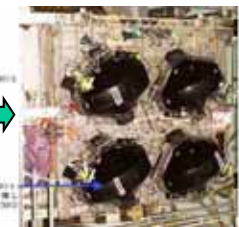
打上げ:米国フロリダ州
NASAケネディ宇宙センター

飛行日 6日目



多目的補給モジュール(MPLM) からのISSへの物資の輸送(イメージ)

飛行日 7日目



2回目の船外活動:姿勢制御ジャイロ(CMG)の交換(イメージ)

飛行日 9日目



3回目の船外活動:船外保管プラットフォーム(ESP-2)の取付/材料曝露実験機器(MISSE)の取付・回収(イメージ)



JAXAミッションロゴ

飛行日 10日目



政府要人との
交信イベント(予定)



アンドリュー トーマス
(Andrew Thomas)
船内からの船外活動
支援担当(MS3)



ウェンディー ローレンス
(Wendy Lawrence)
ISSロボットアーム操作担当
(MS4)



チャールズ カマーダ
(Charles Camarda)
スペースシャトルロボットアーム操作担当(MS5)

飛行日 11日目



大気圏再突入
(着陸約30分前)
(イメージ)

飛行日 13日目

ISSから分離
(イメージ)



着 陸: NASAケネディ宇宙センター
(フロリダ州)
代替着陸地:
ドライデン飛行研究センター(カリフォルニア州)
ホワイトサンス試験場(ニューメキシコ州)

オービタ名称:ディスカバリー号
搭乗員数:7名
打上げ可能期間:2005年7月13日~7月31日
打上予定:米国東部夏時間 2005年7月13日(水) 15:51
[日本時間 2005年7月14日(木) 4:51]
打上げ場所:NASAケネディ宇宙センター(KSC)(フロリダ州)
軌道高度:投入高度:約226km ISSとのランデブー高度:約379km
飛行期間:13日間(飛行日)
帰還予定:米国東部夏時間 2005年7月25日(月) 11:01
[日本時間 2005年7月26日(火) 0:01]
ディスカバリー号:31回目の飛行 ISS組立て:17回目のシャトルの飛行

STS-114ミッション概要

- 軌道上検査・修理技術の検証
シャトル翼の耐熱タイル等の損傷程度の軌道上点検
船外活動(EVA)による耐熱タイル修理技術の検証
- ISSの補給・修理
現在故障しているISS姿勢制御用ジャイロ(CMG)の交換・修理
物資(ISS予備品、食品、衣類、飲料水など)の補給
曝露機器の保管に用いる船外保管プラットフォーム(ESP-2)の取付け
宇宙使用に適した材料を調べる材料曝露実験機器の取付け・回収

野口宇宙飛行士の主要任務

- 船外活動の実施(3回)
 - 耐熱タイルの修理技術の検証(飛行5日目)
 - CMGの交換(飛行7日目)
 - ESP-2の取付け、及び材料曝露実験機器取付・回収(飛行9日目)
- ISS物資の運搬

シャトル飛行再開及びきぼう(JEM)の打上げ予定

2005年	2007年~2008年
7月 STS-114	
9月 STS-121	補給部 与圧部 曝露部 与圧区
(注)米国シャトル飛行再開フライト	(注)日本実験棟の組立て

略語

CMG: Control Moment Gyro
ESP-2: External Stowage Platform
ISS: International Space Station
MISSE: Materials ISS Experiment
MPLM: Multi Purpose Logistics Module
OBSS: Orbiter Boom Sensor System
RCC: Reinforced Carbon Carbon